

2017年12月28日

株式会社セブン-イレブン・ジャパン
代表取締役社長 古屋一樹 様

新日本婦人の会
会長 笠井貴美代

「成人向け雑誌」を全店から撤去、販売を中止してください

新日本婦人の会は、1962年の創立以来、女性と子どものしあわせを願い、くらしや平和、人権、ジェンダー平等など、全国で草の根から運動している国連NGOの女性団体です。女性の人権や尊厳が守られるよう、性の商品化に反対し、アダルトビデオ店の調査・要請、ポルノ自販機の撤去を求めて運動してきました。

このたび、イオングループの「ミニストップ」が女性客などの要望を受け、全国で「成人向け雑誌」の販売を中止し、系列店にも広げるとの決定を、心から歓迎します。

日本は、女性が社会の各分野で活躍しているにもかかわらず、女性の人権やジェンダー平等の点で、国際的に大きく遅れ、先進国でも最低レベルで、女性差別が根強く残っています。

世界でも、日本でも、セクシャルハラスメントや性暴力が蔓延する社会のありようを問い、女性たちの勇気ある告発が広がるいま、家庭や職場、社会、政治などで見直し、なくしていく努力が各分野で求められています。

今日、コンビニエンスストアは地域社会になくしてはならない存在となっています。御社でも、全店舗での「成人向け雑誌」販売を中止し、女性や子どもたちにとって安心して訪れることができる場にするとともに、この機会に全社員、従業員に女性差別撤廃条約などでの人権教育を重視し、人権啓発の役割を発揮していただくよう、お願いいたします。

記

1、全店舗で「成人向け雑誌」の販売を中止してください

1、全社員、従業員に女性差別撤廃条約などでの人権教育を重視し、人権啓発の役割を発揮してください